

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地理学				福島 貞道 / 塩見 直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>地理学とは、「地表の自然・人文にわたる諸現象を、環境・地域・空間などの概念に基づいて解明しようとする学問」（『最新地理学用語辞典』）である。本授業では、地域経営やまちづくり、観光、交流等の観点から、地理学を学んでいく。特に、風景、景観、都市性、歴史、地域文化、農村風景、棚田、里山、独特な気候、独特な地形を活かした観光やまちづくりを例にし、地理的見方や地理的な考え方を育む。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・地理学について基本的な知識を修得する。 ・風景、景観、都市性、歴史、地域文化、農村風景、棚田、里山、独特な気候、独特な地形を活かした観光やまちづくり、地域振興策へとつながる感性やまなざしを獲得する。 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス及び地理学を学ぶ意義				
第 2 回	日本の風土、伝統、文化（まちづくりに対する基本的感性の源）（1）				
第 3 回	風景を活かした観光、まちづくり				
第 4 回	景観を活かした観光、まちづくり				
第 5 回	都市性を活かした観光、まちづくり				
第 6 回	歴史を活かした観光、まちづくり				
第 7 回	地域文化を活かした観光、まちづくり				
第 8 回	小括、試験（1）				
第 9 回	日本の風土、伝統、文化（まちづくりに対する基本的感性の源）（2）				
第 10 回	農村風景をいかした観光、まちづくり				
第 11 回	棚田をいかした観光、まちづくり				
第 12 回	里山をいかした観光、まちづくり				
第 13 回	独特な気候を活かした観光、まちづくり				
第 14 回	独特な地形を活かした観光、まちづくり				
第 15 回	小括、試験（2）				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<ul style="list-style-type: none"> ・居住地や故郷、旅先などの地形や気候、地域文化等に絶えず関心を持ち、地理学的な見方、考え方を培うよう努めること。 					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
前半 小括試験 (40%) 後半 小括試験 (40%) 平常点 (20%)	秀：風景、景観等の意義を理解し、必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている。 優：風景、景観等の意義を理解し、キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している。 良：風景、景観等の意義を理解し、凡その説明ができ、かつ、問題点を理解している。 可：風景、景観等の意義、地理学としての仕組みや問題点の説明において、最低限の理解ができている。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 ・講義に際し、レジュメを配布する。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	・適宜紹介する
備考 (Other Information)	・6回以上の欠席者は、定期試験の受験は認めない。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	・メール等でアポイント